



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2019年7月29日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4506 URL <https://www.ds-pharma.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート コミュニケーション担当 (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 03-5159-3300

四半期報告書提出予定日 2019年8月5日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	117,484	1.4	22,275	20.9	40,423	155.6	6,703	△56.0	6,703	△56.0	△1,154	—
2019年3月期第1四半期	115,911	△0.2	18,425	△25.6	15,814	△50.0	15,247	△38.1	15,247	△38.1	22,293	△12.2

(参考) 税引前四半期利益 2020年3月期第1四半期 36,908百万円 2019年3月期第1四半期 20,631百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益(調整項目)を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.87	—
2019年3月期第1四半期	38.38	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	808,062	489,434	489,434	60.6	1,231.91
2019年3月期	834,717	498,138	498,138	59.7	1,253.82

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9.00	—	19.00	28.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	228,500	1.0	39,500	6.3	56,000	89.1	22,000	△21.1	22,000	△21.1	55.37
通期	475,000	3.4	77,000	△0.4	88,000	52.0	36,000	△26.0	36,000	△26.0	90.61

(参考) 税引前利益 第2四半期(累計) 58,000百万円 通期 91,000百万円

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.13「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（重要な会計方針）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期第1四半期	397,900,154株	2019年3月期	397,900,154株
---------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期第1四半期	604,124株	2019年3月期	603,851株
---------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期第1四半期	397,296,126株	2019年3月期第1四半期	397,297,902株
---------------	--------------	---------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算カンファレンスコール説明資料を開示しております。
- ・当社は、2019年7月29日（月）に機関投資家・アナリスト向けに、第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しております。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

## (業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	増減	増減率 (%)
売上収益	1,159	1,175	16	1.4
コア営業利益	184	223	39	20.9
営業利益	158	404	246	155.6
税引前四半期利益	206	369	163	78.9
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	152	67	△85	△56.0

## ■ 売上収益は1,175億円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

日本セグメントは、長期収載品の売上減少の影響等により減収となりましたが、北米セグメントにおいて、当社グループの収益の柱である非定型抗精神病薬「ラツォダ」の売上が堅調に推移したことや、中国セグメントが増収となったことから、連結合計では増収となりました。

## ■ コア営業利益は223億円（前年同四半期比20.9%増）となりました。

増収に伴う売上総利益の増加に加え、研究開発費等が減少したことから、コア営業利益は増益となりました。

## ■ 営業利益は404億円（前年同四半期比155.6%増）となりました。

米国子会社であるボストン・バイオメディカル・インクで抗がん剤として開発中のナパブカシンについて、膵がん患者を対象としたフェーズ3試験を中止することを決定したことに伴い、条件付対価公正価値が減少しました。その結果、費用の戻入が発生したため、コア営業利益の増益に加え、営業利益は大幅な増益となりました。

## ■ 税引前四半期利益は369億円（前年同四半期比78.9%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間末は、為替換算レートが前連結会計年度末に比べ、米ドルに対し円高に振れたことから当社が保有する外貨建て金融資産において為替差損が発生したため、金融費用が増加しました。その結果、税引前四半期利益は営業利益に比べ減少しました。

## ■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は67億円（前年同四半期比56.0%減）となりました。

ナパブカシンの膵がん患者を対象としたフェーズ3試験中止の決定等に伴い、米国において認識していた繰延税金資産の取り崩しを行いました。その結果、法人所得税が大幅に増加したため、親会社の所有者に帰属する四半期利益は大きく減少しました。

なお、親会社の所有者に帰属する四半期利益の売上収益に対する比率は5.7%となりました。

### (セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### 【日本】

■ 売上収益は326億円（前年同四半期比7.6%減）となりました。

2型糖尿病治療剤「トルリシティ」等の売上は増加しましたが、高血圧症治療剤「アイミクス」等の長期収載品の売上減少が大きく、減収となりました。

■ コアセグメント利益は73億円（前年同四半期比23.0%減）となりました。

減収による売上総利益の減少等により、減益となりました。

#### 【北米】

■ 売上収益は660億円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

「ラツダ」に加え、抗てんかん剤「アプティオム」等の売上も伸長したことから、増収となりました。

■ コアセグメント利益は295億円（前年同四半期比18.0%増）となりました。

主に増収による売上総利益の増加により、増益となりました。

#### 【中国】

■ 売上収益は68億円（前年同四半期比25.8%増）となりました。

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」等の売上が増加したことにより、増収となりました。

■ コアセグメント利益は38億円（前年同四半期比68.3%増）となりました。

主に増収による売上総利益の増加により、増益となりました。

#### 【海外その他】

■ 売上収益は25億円（前年同四半期比47.9%減）となりました。

「メロペン」の輸出が減少したこと等から、減収となりました。

■ コアセグメント利益は9億円（前年同四半期比46.6%減）となりました。

減収による売上総利益の減少により、減益となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品等の販売を行っており、これらの売上収益は96億円（前年同四半期比2.2%減）、コアセグメント利益は8億円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産については、非流動資産は、IFRS第16号「リース」を当期首から適用したことに伴い、有形固定資産が増加しましたが、のれんや無形資産が為替換算等により減少したことに加え、米国において繰延税金資産の取り崩しを行った結果、前連結会計年度末に比べ194億円減少しました。

流動資産は、現金及び現金同等物等が増加しましたが、短期貸付金の減少によりその他の金融資産が減少した結果、前連結会計年度末に比べ72億円減少しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ267億円減少し、8,081億円となりました。

負債については、条件付対価公正価値の減少に伴い、その他の金融負債が減少しました。加えて未払法人所得税や引当金等が減少した結果、前連結会計年度末に比べ180億円減少し、3,186億円となりました。

資本については、在外営業活動体の換算差額等のその他の資本の構成要素が減少した結果、前連結会計年度末に比べ87億円減少し、4,894億円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は60.6%となりました。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益の増加に加え、営業債務及びその他の債務の増加等によるキャッシュの増加要因等により、前年同四半期に比べ167億円収入が増加し、82億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資の取得による支出は増加しましたが、短期貸付金の減少等により、前年同四半期に比べ124億円収入が増加し、167億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース負債の返済による支出が増加したことにより、前年同四半期に比べ8億円支出が増加し、93億円の支出となりました。

上記のキャッシュ・フローに、現金及び現金同等物の為替換算による影響額を加えた結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は1,490億円となり、前連結会計年度末に比べ117億円増加しました。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、2019年5月10日に公表した2020年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を下記のとおり修正しました。

## ① 2020年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2019年9月30日）

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	四半期利益	親会社の 所有者に 帰属する 四半期利益	基本的 1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	226,500	38,500	34,500	25,000	25,000	62.93
今回修正予想(B)	228,500	39,500	56,000	22,000	22,000	55.37
増減額(B-A)	2,000	1,000	21,500	△3,000	△3,000	—
増減率(%)	0.9	2.6	62.3	△12.0	△12.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	226,155	37,151	29,607	27,869	27,869	70.15

## ② 2020年3月期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	当期利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	460,000	77,000	69,000	49,000	49,000	123.33
今回修正予想(B)	475,000	77,000	88,000	36,000	36,000	90.61
増減額(B-A)	15,000	—	19,000	△13,000	△13,000	—
増減率(%)	3.3	—	27.5	△26.5	△26.5	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	459,267	77,299	57,884	48,627	48,627	122.39

(注) コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

## ③ 修正の理由

売上収益は、日本セグメントにおいて、ノバルティスファーマ株式会社が販売中の2型糖尿病治療薬「エクア錠50mg」および「エクメット配合錠 LD/HD」の販売提携開始により増収が見込まれることや、中国セグメントが好調であることから、前回発表予想に対して、第2四半期連結累計期間は20億円増の2,285億円、通期は150億円増の4,750億円に修正しました。コア営業利益は、第2四半期連結累計期間では前回発表予想を10億円上回る見込みですが、売上原価や販売関連費用の増加が見込まれることから、通期では前回発表予想を変更していません。

営業利益は、抗がん剤として開発中のナバブカシンの膵がんを対象としたフェーズ3試験の中止により、条件付対価公正価値の変動額が費用の戻入となる見込みであることから、前回発表予想に対して、第2四半期連結累計期間は215億円増の560億円、通期は190億円増の880億円に修正しました。

当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、ナバブカシンの上記試験の中止に伴い、米国で計上していた繰延税金資産の取り崩し等により、法人所得税が増加する見込みであることから、前回発表予想に対して、第2四半期連結累計期間は30億円減の220億円、通期は130億円減の360億円に修正しました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 【要約四半期連結損益計算書】

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上収益	115,911	117,484
売上原価	28,912	28,953
売上総利益	86,999	88,531
販売費及び一般管理費	50,250	27,887
研究開発費	20,864	20,056
その他の収益	103	393
その他の費用	174	558
営業利益	15,814	40,423
金融収益	4,885	1,430
金融費用	68	4,945
税引前四半期利益	20,631	36,908
法人所得税	5,384	30,205
四半期利益	15,247	6,703
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	15,247	6,703
四半期利益	15,247	6,703
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	38.38	16.87

## 【要約四半期連結包括利益計算書】

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期利益	15,247	6,703
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△811	△2,203
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	7,821	△5,624
キャッシュ・フロー・ヘッジ	36	△30
その他の包括利益合計	7,046	△7,857
四半期包括利益合計	22,293	△1,154
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	22,293	△1,154
四半期包括利益合計	22,293	△1,154

## (2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	59,485	70,059
のれん	99,348	96,440
無形資産	171,390	167,706
その他の金融資産	74,668	70,655
未収法人所得税	2,562	2,487
その他の非流動資産	3,277	4,100
繰延税金資産	50,719	30,557
非流動資産合計	461,449	442,004
流動資産		
棚卸資産	66,889	65,365
営業債権及びその他の債権	118,760	120,509
その他の金融資産	43,750	23,995
未収法人所得税	483	302
その他の流動資産	6,090	6,921
現金及び現金同等物	137,296	148,966
流動資産合計	373,268	366,058
資産合計	834,717	808,062

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
借入金	27,980	27,240
その他の金融負債	80,387	69,981
退職給付に係る負債	23,613	23,763
その他の非流動負債	6,425	4,415
繰延税金負債	—	2
非流動負債合計	138,405	125,401
流動負債		
借入金	2,960	2,960
営業債務及びその他の債務	49,238	50,242
その他の金融負債	8,673	13,309
未払法人所得税	15,723	11,045
引当金	92,176	86,752
その他の流動負債	29,404	28,919
流動負債合計	198,174	193,227
負債合計	336,579	318,628
資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,861	15,861
自己株式	△674	△675
利益剰余金	431,799	431,048
その他の資本の構成要素	28,752	20,800
親会社の所有者に帰属する持分合計	498,138	489,434
資本合計	498,138	489,434
負債及び資本合計	834,717	808,062

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2018年4月1日残高	22,400	15,860	△669	396,037	31,735	—
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	348	—	—
会計方針の変更を反映した2018年4月1日残高	22,400	15,860	△669	396,385	31,735	—
四半期利益	—	—	—	15,247	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△811	—
四半期包括利益合計	—	—	—	15,247	△811	—
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	△7,549	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△1	△7,549	—	—
2018年6月30日残高	22,400	15,860	△670	404,083	30,924	—
2019年4月1日残高	22,400	15,861	△674	431,799	32,611	—
四半期利益	—	—	—	6,703	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,203	—
四半期包括利益合計	—	—	—	6,703	△2,203	—
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	△7,549	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	95	△95	—
所有者との取引額合計	—	—	△1	△7,454	△95	—
2019年6月30日残高	22,400	15,861	△675	431,048	30,313	—

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ			
2018年4月1日残高	△12,619	△21	19,095	452,723	452,723
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	348	348
会計方針の変更を反映した2018年4月1日残高	△12,619	△21	19,095	453,071	453,071
四半期利益	—	—	—	15,247	15,247
その他の包括利益	7,821	36	7,046	7,046	7,046
四半期包括利益合計	7,821	36	7,046	22,293	22,293
自己株式の取得	—	—	—	△1	△1
配当金	—	—	—	△7,549	△7,549
所有者との取引額合計	—	—	—	△7,550	△7,550
2018年6月30日残高	△4,798	15	26,141	467,814	467,814
2019年4月1日残高	△3,853	△6	28,752	498,138	498,138
四半期利益	—	—	—	6,703	6,703
その他の包括利益	△5,624	△30	△7,857	△7,857	△7,857
四半期包括利益合計	△5,624	△30	△7,857	△1,154	△1,154
自己株式の取得	—	—	—	△1	△1
配当金	—	—	—	△7,549	△7,549
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△95	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△95	△7,550	△7,550
2019年6月30日残高	△9,477	△36	20,800	489,434	489,434

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	15,247	6,703
減価償却費及び償却費	3,494	4,255
条件付対価公正価値の変動額	2,493	△18,461
受取利息及び配当金	△1,008	△1,429
支払利息	58	75
法人所得税	5,384	30,205
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△5,950	△2,938
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,104	△1,165
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△7,806	1,799
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	118	169
引当金の増減額 (△は減少)	180	△2,781
その他	△6,836	4,277
小計	3,270	20,709
利息の受取額	461	638
配当金の受取額	479	596
利息の支払額	△33	△54
法人所得税の支払額	△12,669	△13,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,492	8,247
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,190	△2,495
有形固定資産の売却による収入	221	307
無形資産の取得による支出	△994	△641
投資の取得による支出	△150	△1,322
投資の売却及び償還による収入	—	253
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	7,423	20,550
その他	—	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,310	16,675
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△740	△740
リース負債の返済による支出	△286	△1,114
配当金の支払額	△7,451	△7,465
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,478	△9,320
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,660	15,602
現金及び現金同等物の期首残高	147,775	137,296
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,829	△3,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	138,944	148,966

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

基準書、解釈指針の新設又は改訂		新設又は改訂の概要
IFRS第16号	リース	リースの認識に関する会計処理の改訂

当社グループは、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表、以下「IFRS第16号」)を適用しております。

当社グループは、契約が特定された資産の使用を支配する権利を一定期間にわたり対価と交換に移転しているか否かに基づき、契約がリースであるか、又はリースを含んでいるかを判定しております。

契約がリース又はリースを含んでいると判定した場合、リース開始日において、使用权資産及びリース負債を認識しております。

## ① 使用权資産

使用权資産は取得原価で当初測定しており、取得原価はリース開始日時点におけるリース負債の当初測定額に取得時直接コスト等を調整した金額で認識しております。

使用权資産の認識後の測定方法として、原価モデルを採用しております。当初認識後は、原資産のリース期間又は見積耐用年数のいずれか短い期間にわたり、定額法に基づいて減価償却を行っております。

また、要約四半期連結財政状態計算書において、使用权資産は取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した価額で、有形固定資産に含めて表示しております。

## ② リース負債

リース負債は、リース開始日現在で支払われていないリース料の割引現在価値で当初認識しております。通常、当社グループは、追加借入利率を割引率として用いております。当初認識後は、リース負債に係る金利及び支払われたリース料を反映するよう、実効金利法に基づき帳簿価額を増減しております。また、要約四半期連結財政状態計算書において、リース負債はその他の金融負債に含めて表示しております。

リース料は、リース負債残高に対して一定の利率となるよう金融費用とリース負債の返済部分とに配分しております。金融費用は、要約四半期連結損益計算書において、使用权資産の減価償却費と区別して表示しております。

なお、短期リース及び少額資産のリースについて、当社グループは基本的に使用权資産及びリース負債として認識せず、リース料総額をリース期間にわたり、定額法に基づいて純損益に計上しております。

## ③ 連結財務諸表への影響

当社グループは、以下のIFRS第16号の経過措置の規定(修正遡及アプローチ)に従い、IFRS第16号を適用しております。

(i) IFRS第16号適用による累積的影響額を、適用開始日に認識

(ii) 過去にオペレーティング・リースに分類していたリースについて、

(a) リース負債を、適用開始日における残存リース料総額を適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定

## (b) 使用権資産を、以下のいずれかで測定し認識

- ・ IFRS第16号がリース開始日から適用されていたかのように帳簿価額で認識。ただし、適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引く
- ・ リース負債の測定額に前払リース料又は未払リース料を調整した金額で認識

なお、IFRS第16号への移行にあたり、当社グループは、取引がリースであるか否かに関する従前の判定を引き継ぐ実務上の便法を適用することを選択しております。

これらの結果、当社グループの適用開始日における財政状態への影響として、要約四半期連結財政状態計算書の資産合計が14,626百万円、負債合計が14,626百万円それぞれ増加しております。なお、業績に与える影響は軽微であります。

適用開始日現在のリース負債に適用した追加借入利率の加重平均は1.5%であります。

適用開始日の直前年度の末日現在における解約不能オペレーティング・リースの将来最低リース料総額と適用開始日現在における連結財政状態計算書で認識したリース負債の差額は以下の通りです。

(単位：百万円)

2019年3月31日現在における解約不能オペレーティング・リースの将来最低リース料総額	9,543
上記の2019年4月1日現在の追加借入利率を用いて割り引いた金額	8,790
2019年3月31日現在で認識したファイナンス・リース債務	2,043
リース期間を見直したことにより追加で計上したリース負債	6,525
2019年4月1日現在のリース負債	17,358

## (セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

## (1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、中国等マーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、中国、海外その他の4つを報告セグメントとしております。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

## (2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

なお、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」における報告セグメントに含まれない「その他」の区分に係るコアセグメント利益の金額及び前年同四半期比増減については、セグメント間取引として消去された利益を含めて記載しております。

## ① 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益	35,313	60,647	5,436	4,740	106,136	9,775	115,911
セグメント間の内部売上 収益	15	—	—	—	15	9	24
合計	35,328	60,647	5,436	4,740	106,151	9,784	115,935
セグメント利益 (コアセグメント利益)	9,419	25,003	2,261	1,733	38,416	818	39,234

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

## ② 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益	32,629	65,984	6,838	2,470	107,921	9,563	117,484
セグメント間の内部売上 収益	18	—	—	—	18	10	28
合計	32,647	65,984	6,838	2,470	107,939	9,573	117,512
セグメント利益 (コアセグメント利益)	7,256	29,493	3,806	925	41,480	810	42,290

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

## (3) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

調整額に関する事項は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

売上収益	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメント計	106,151	107,939
「その他」の区分の売上収益	9,784	9,573
セグメント間取引消去	△24	△28
要約四半期連結財務諸表の売上収益	115,911	117,484

(単位：百万円)

利益	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメント計	38,416	41,480
「その他」の区分の利益	818	810
セグメント間取引消去	9	5
研究開発費(注)	△20,864	△20,046
事業譲渡益等	36	35
その他	10	△9
コア営業利益	18,425	22,275
条件付対価公正価値の変動額	△2,494	18,461
その他の収益	57	367
その他の費用	△174	△558
その他	—	△122
要約四半期連結財務諸表の営業利益	15,814	40,423

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される研究開発関連費用であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。